

〇〇〇市長 〇〇 〇〇 様

申込者氏名 福島 県太郎

申 出 書

次の被災した住宅の状況について、令和5年台風第13号に伴う大雨災害に係る福島県賃貸型応急住宅実施要綱の要件に該当することを申し出ます。

被災した住宅の所在地：福島県〇〇〇市〇〇町〇-〇

【被災した住宅の状況】

- ※ 該当する状況にを付けてください。
- ※ 裏面に、被災状況を記載すると共に被災状況が確認できる写真を添付すること。

(要綱第6条)

災害発生の日（令和5年9月8日）時点において、災害救助法が適用される市町村に居住する

① 住宅が全壊、全焼又は流失し、居住する住宅がない

② 「半壊」（「中規模半壊」、「大規模半壊」を含む。）であって、住み続けることが困難な程度の傷みや、避難指示の長期化により住宅としての利用ができず、自らの住家に居住できない

ア 土砂、流木等の流入により生活の空間が確保できない状態

イ 屋根、外壁の損傷により雨風をしのぐことができない状態

ウ 住家への浸水により耐えがたい悪臭がしており、生活に支障が生じている状態

エ ア～ウに準ずる状況により生活が困難であると県が認める場合

③ 二次災害等により住宅が被害を受ける恐れがある、ライフライン(水道、電気、ガス、道路等)が途絶している、地滑り等により避難指示等を受けているなど、長期にわたり自らの住宅に居住できないと市町村長が認める者

④ 災害救助法に基づく住宅の応急修理制度を利用する者のうち、修理に要する期間が1か月を超えると見込まれる者であって、②に該当する

⑤ その他、国と県の協議により、やむを得ず入居すべきと認められた者

以下にも
チェック

※ 被災状況について記載してください。

〇月〇日、写真のとおり、玄関から屋内全体に土砂や流木が床上〇〇cmまで流入し、半壊となった。
...〇月〇日に悪臭がし始め、〇月〇日に耐えがたいものになったことから、土砂等の撤去作業を断念し、
自宅を取壊す（建て直す）方針とした。現在は避難所に避難しており、住宅に困窮している。

※ 被災状況が確認できる写真を貼付してください。

写真の印刷が難しい場合はメール件名に申込者名、メール本文に被災した住所、連絡先を記載の上、下記アドレスあてにデータ送付をお願いいたします。

いわき市住宅プロジェクトチーム宛

メールアドレス sumaiseisaku@city.iwaki.lg.jp

写真1

写真2

(写真を添付してください)

写真3

写真4

該当要件確認印
(〇〇市町村記入欄)